

# 津波対策を万全に

民間の実験施設を視察

川奈神党  
議 議 団

## 産学官連携の取り組み探る

公明党神奈川県議団

波造波装置」。

を30分の1とした場

(鈴木秀志団長)は先ご

幅17尺、奥行き35尺

合、高さ12尺の津波に

ろ、大成建設株式会社

のプールの端に備え付

相当する。

の技術センター(横浜

けられた装置は、密閉

この装置を用いた実

市戸塚区)を訪れ、津

された空洞の箱の中に

験と従来から開発に取

波被害のシミュレーシ

水を吸い上げ、上部の

り組んできた数値解析

ョン施設を視察した。

バルブを開放して津波

による津波シミュレー

一行が視察したのは

をつくり出す方式を採

ション技術を併用する

東日本大震災時のよう

用。さまざまな波形を

ことで、構造物に加わ

な大規模津波を再現

自在に再現できると

る力などをより高い精

し、津波の挙動や陸上

もに、最大で高さ40

度で予測することが可

にある建物への影響を

の波を発生させること

能になるという。

詳細に調べられる「津

が可能で、模型の縮尺

鈴木団長は「県内に

ある民間の先端技術を

取り入れた実験施設な

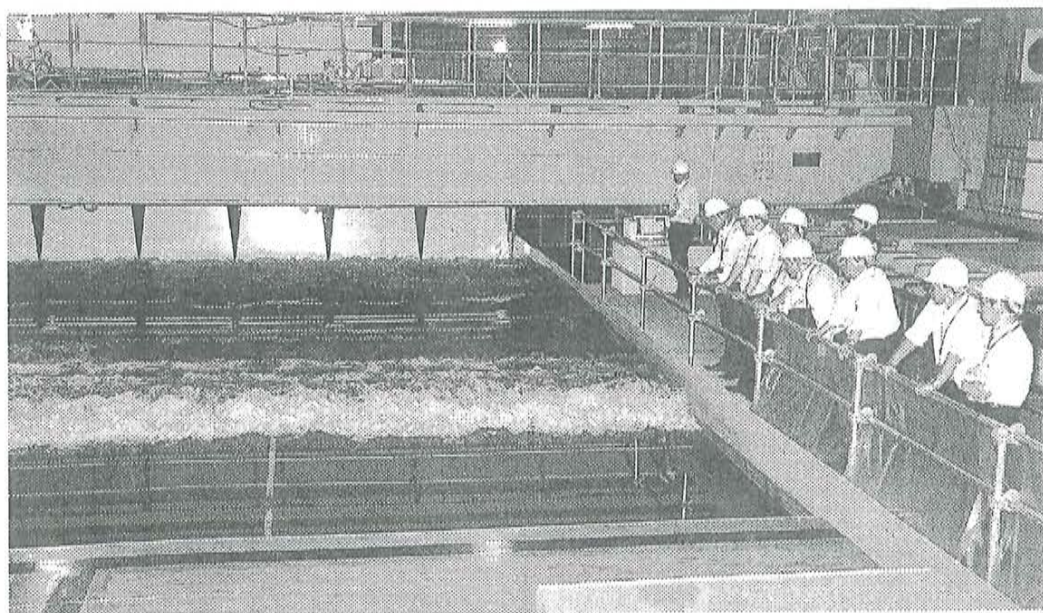
ども活用し、産学官が

連携して津波対策を進

める仕組みづくりを検

討していきたい」とし

てくる。



津波造波装置による実験を視察する党神奈川県議団